



▲いっぱい入れるぞ、それ～（草野幼稚園）

9/11 草野幼稚園・飯樋幼稚園でそれぞれミニ運動会が行われました。今年の運動会は、震災の影響により、園庭が使用できません。このため、今回の運動会は両幼稚園ともに保育参観を兼ねた形で屋内で開催されました。



▲ようし、いそげいそげ～（飯樋幼稚園）

### 9/11 草野・飯樋両幼稚園でミニ運動会を開催

運動会の会場には、草野幼稚園が園舎に隣接したリズム室、飯樋幼稚園は園舎2階のホールを使用しました。草野幼稚園は38人の園児がリレーや玉入れなどで会場内をところせましと駆け回る姿に、来場した保護者たちは目を細めながらカメラを向け、園児たちを応援していました。

### 8/25 村幼稚園・小中学校で始業式

村の幼稚園、小中学校で2学期が始まりました。

始業式時点での園児・児童数は、幼稚園児が75人、小学校児童が243人、中学生生徒が135人の453人です。

始業式を終えた子どもたちは、2学期81日間の授業に取り組みます。



▲始業式の様子。小学校では児童たちが夏休みの思い出と2学期の目標を発表しました

この飯館中学校と細田中学校の短歌を通じての交流は、村までい大使の菅原美智子さんを通じてラジオ福島番組の中で紹介されました。



▶返歌受領式の様子

8/25 村の中学生が宮崎県日南市立細田中学校と短歌の交流を行いました。交流のきっかけは、細田中学校が震災のニュースを見て、被災地に励ましの短歌を贈ることになったことです。細田中学校はラオスへの支援活動も行っており、村のまでい大使を務めるアジア教育友好協会理事長の谷川洋さんを通じて飯館中学校に短歌が贈られました。細田中学校の短歌に、村の中学2年生が返歌を返したところ、細田中学校から、さらに返歌が贈られました。

### 8/25 村までい大使が橋渡し 中学生が短歌で交流

村までい大使が橋渡し

### 9/2~9/21 室内プールで心も体もリフレッシュ 子どもたちが合同水泳学習



▲合同水泳学習の様子

村の3つの小学校で、今年度初めての合同水泳学習があつま総合体育館室内プールで行われました。村教育委員会では、原発事故の健康への影響を考え、1学期は児童・生徒の屋外での教育活動を自粛してきました。2学期からは、徐々にその制限を緩和していく予定です。合同水泳学習は、小学校低学年が9月16日、中学年が9月21日、高学年が9月2日の3日間で行われました。今年度初めての水泳学習に子どもたちは大喜びでした。

## 子育て相談室

— お気軽にご相談ください —

### 避難校舎 その1

1学期、避難している飯館村の各幼稚園と小・中学校を訪ね、子どもたちのようすを観察し、先生方から子どもたちのことを伺っていました。各先生方が個々の子どもたちの心身の状態をしっかりと把握していることを知り、安堵していました。

また、各地に転校した子どもたちのことが気になり、情報収集につとめました。このことも、各先生方がある程度ご存知でした。転学の子どもたちが新しい学校で健やかに成長することを祈っています。そして、なるべく早い機会に、飯館村の学校に戻ってくることを期待しています。

ところで、子どもたちは、今、人生を揺さぶる災害に遭っているというのを良く知っています。この難局を乗り越えるのは、自分の努力に拠らなければならないことも自覚しています。授業態度を見ていて、それがよく分かります。立派です。

そうであっても、家庭と学校との態度の違い、家族と一緒にいるときと一人になったときのようすが異なる、不眠、揺れや暗闇を怖がる、まわりつくなどがあるかもしれせん。そんなとき、ほんの少し子どもの話を聴く時間を長くしたり、スキンシップを心がけるのがよいと思います。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫

社団法人国民保健会主任研究員

学校心理士・家族心理士

臨床心理士

○教育相談は飯館中学校（☎024-566-3100、3118、3150）へ電話でお申込みください。



9/15

### 増田明美さんが仮設住宅を訪問



▶参加者を前に身振りを交えながら話す増田さん

産経新聞社主催、(株)DK協賛の東日本大震災復興支援未来塾が開催され増田明美さんが村の仮設住宅を訪れました。

元女子マラソン、陸上競技長距離選手で、現在はスポーツライターやレース解説者、タレントとして活躍する増田さんは、村のまでい大使でもあります。そんな増田さんはこの未来塾開催が決まった際に、「福島で開催す

るのならばぜひ飯館村に行きたい」と希望していただいたそうです。

この日、増田さんは福島市の旧明治小仮設住宅と相馬市の相馬仮設住宅を訪れました。

旧明治小仮設住宅では、世界陸上で活躍したボルト選手がレース前でもファンサー

ビスを怠らない選手であることや、ご自身がマラソン競技中、心ない野次に負けそうになったときに市民ランナーたちの応援で完走できたことなどを話しました。

また、増田さんは参加者に簡単なストレッチを教え交流を深めました。

参加者は、「いい話を聞いて思い出になった」「増田さんの話を聞いて元気になった」と満足そうでした。



▲「お互いにへこたれないで元気に行きましょう」と話した増田さん。参加者とストレッチも行いました

8/25

### NPO法人まちの案内推進ネットが仮設住宅に車イスを贈呈

NPO法人まちの案内推進ネット（大阪府大阪市以下「まちの案内推進ネット」）から村社会福祉協議会に車イスの贈呈があり、旧明治小仮設住宅で贈呈式が行われました。

まちの案内推進ネットでは、郵便事業株式会社が実施している「東日本大震災の発生による被災者の救助支援年賀寄附金配分事業」を活用して被災地に300台の車イスを無償で提供する活動に取り組んでいます。

村社会福祉協議会への車イス提供もこの事業の一環として実施され、村全体で20台の車イスが提供されました。

贈呈式では、まちの案内推進ネット理事長の岡田光生さんが「誰もが思ったときに思ったところに移動できることは人の基本的な権利です。頑丈な車イスなので活用してください」とあいさつしました。

贈呈された車イスは、村社会福祉協議会を通じて各仮設住宅に配られ、入居者の移動を助けます。



▲写真右から郵便事業株式会社福島支店長富田信明さん、同東北支社総務部長佐藤和男さん、まちの案内推進ネット理事長の岡田さん、村長、小山茂村社会福祉協議会長

9/5

### 村議会が東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会を開催

村議会の東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会は飯野出張所で行われました。

委員会は、村が東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復旧・復興を目的に、村の災害復旧のための調査や避難者の安全対策に関する調査を行います。

この委員会は、大谷友孝議員を委員長として議長を除く11人の村議員で構成されています。

2回目の開催となった今回の委員会では、①村民のホールボディカウンターによる内部被ばく調査等の結果について②避難村民の避難生活上での実態の把握等について③国が実施している土壌除染プロジェクト調査の中間報告についての3項目



▲東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会のようす

を村に対し、資料の提出と聞き取り調査を行うことを決めました。

また、委員会では、調査のため仮設住宅や集会所に出向き、村民から意見、要望などを直接聞き取ることを検討しています。

### 地域の安心安全を守る

### 9/11 松川第1仮設住宅集会所に「ふれあい交番」を設置

松川第1仮設住宅集会所に「ふれあい交番」が設置され、開所式が行われました。

このふれあい交番は、福島県警福島警察署が設置したもので、仮設住宅内の防犯や交通安全、生活相談の拠点とすることを目的としています。

開所式では、同警察署の渡辺義一署長と村長があいさつしたほか、同警察署音楽隊「シニアサポートさすけねえ隊」による演奏が行われ、参加した村民らは交番の開所を頼もしそうに見守っていました。



▲「ふれあい交番」の看板を設置する渡辺義一署長(右)と村長

また、式終了後には警察官のほか、地元福島市松川町の防犯指導隊、交通安全母の会の皆さんも参加して、敷地内の住宅1軒1軒に防犯の広告を配る防犯診断を行いました。

福島警察署では、この「ふれあい交番」を、松川を初め市内5ヵ所の仮設住宅に設置することとしており、それぞれに警察官が訪れ、村民の安全を守っていくとのこと。



▶防犯診断のようす



いいたてまでいな復興プラン  
リスクコミュニケーション推進委員会

委員名	所属等
中川 恵一	東京大学医学部附属病院 放射線科准教授
神津 カンナ	作家
伴 信彦	東京医療保健大学大学院 看護学研究科教授
田中 俊一	放射線安全フォーラム代表
上塚 寛	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所長
井上 正	電力中央研究所 研究顧問
菅家 文左衛門	元福島農業試験場会津地域 試験支場長
西澤 真理子	シュトゥットガルト大学 環境技術社会科学研究所 フェロー（社会学博士）

いいたてまでいな復興プラン

9/13 第1回リスクコミュニケーション推進委員会を開催

第1回リスクコミュニケーション推進委員会は、飯野出張所3階会議室で開催され、村長から8人の委員に委嘱状が交付されました。

リスクコミュニケーションとは、ある問題に関する危険性（リスク）について、利害関係者が「どんなリスクなのか」「どの程度のリスクなのか」「それにどう対応するのか」について意見を交換することです。村では、このことを通じて放射線に関する正しい知識を村民に得てもらいたいとしています。

今後、推進委員会では村民が放射線にどんな不安を持っているか調査したり、リスクコミュニケーションの進め方について検討していきます。



▶村長から委嘱状の交付を受ける推進委員

9/16

飯館村避難村民自治組織連絡協議会が発足

飯館村避難村民自治組織連絡協議会が発足し、飯野出張所2階会議室で初めての会議を開催しました。

この連絡協議会は、原子力災害で避難した村民の避難生活向上と、コミュニティの再生を進めることを目的に、避難先で作られた自治組織の代表者で組織されるものです。

会議では、構成する自治会長の互選により、連絡協議会会長に飯野・明治仮設住宅飯館自治会長の本田八郎さんが、副会長に吉倉宿舎飯館自治会長の嶋原良友さんがそれぞれ就任しました。

本田会長は「村民が、避難者として地域のマナーを守るよう、自治組織の代表者として頑張りましょう」とあいさつしました。

は、役場の各課長らが、村が実施する主要事業について説明しました。説明を受けた代表者からは、避難先への支援や除染の方法、東京電力からの補償関係の書類の書き方等について質問がありました。村や東京電力が回答しました。

この会は、今後2カ月に1回程度開催される予定です。



▲連絡協議会のようす

9/11

飯館絆♥松川がんばっぺ!!  
第14回夕暮れコンサート開催

松川駅前商店会主催、松川町商工会共催の第14回夕暮れコンサートがJR松川駅前広場を会場に開催されました。

今年、村の仮設住宅が福島市松川町内に建てられたことから、村民と松川町の人たちとの絆を深めようと「飯館絆♥松川がんばっぺ!!」第14回夕暮れコンサートとして開催されました。

このコンサートは、福島市飯館村がそれぞれ後援しています。

コンサートでは、自衛隊郡山駐屯地音楽隊による演奏のほか、松川フラクラブのフラダンス、



▲虎捕太鼓はアンコールを含めて3曲を熱演しました

八百政組バンドによるバンド演奏に続き、村からも佐須の虎捕太鼓が出演し、会場を沸かせました。コンサートは、松川、飯館双方の盆踊りで締めくくられ、一つの輪の中でお互いの盆踊りを踊りながら交流を深めました。

明日への段取り  
「今日から歩こう」



先日、飯野小学校体育館をお借りして、村の敬老会を開かせていただきました。

避難の時に出した「までいな希望プラン」の中に、「今年も敬老会をやりましょう」と書きましましたので、一生懸命準備をしていただきました。私は敬老会を実施しても、離ればなれの避難生活ですから、「出席者はいつもの半数ぐらいの参加かな」と思っていました。

ところが、何といつもと同じ310人程の方々の参加です。近頃、うれしいことが少なかっただけに私はうれしくてうれしくて、心の中で泣いていたぐらいです。

あらためて足を運んでいただいた方、「いつてみたら」と進めてくれたご家族、準備にかかわってくれた方々、さらに幼稚園児のおゆうぎ、飯野町婦人

会の皆さんの踊り、婦人会の方々の後片付けまで、「感謝」の一言につきる一日でした。ただ1つだけ、私が心配したことは、毎年の敬老会の時より足が弱っている方が多かったのではという気がしたことです。

自分の家になれば歩く機会があるのにここ数ヶ月の避難生活では、動くことが全くないないの理由からかもしれないと思っただ次第です。グラウンドゴルフなどの運動するところ、野菜がつけられる場所などの要望もありましたので、出来るところから用意をしたいと思います。

ただ、何であれ自分でやる気がおきないと始まりません。まず歩くことから始めてみてくださいませんか。

毎日 きまった時間に腕を上げて深呼吸を。そしてゆっくりと気持ちよく少しずつ歩いてみてください。

きっと そんなことが あしたの自分を つくる「段どり」なのだと思えます。皆さんの得意な「段どり」を帰村に向けてお願いします。

平成23年9月19日

飯館村長 菅野典雄

地震発生からの主な経過（8月1日から9月20日まで）

19日	18日	17日	16日	14日	13日	12日	11日	8日	7日	5日	9月3日	30日	29日	28日	25日	23日	8月21日	
																		<ul style="list-style-type: none"> <li>・松川第1仮設住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・放射性物質除去実証実験水田土壌攪拌（浅水代かき）・強制落水試験を実施</li> <li>・放射性物質除去実証実験コンクリートキューブ試験を実施（24日）</li> <li>・荒井・信夫住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・松川第2仮設住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・放射性物質除去実証実験畑土剥ぎ取り試験を実施（比曾行政区、26日）</li> <li>・各幼稚園、小中学校で始業式を行う</li> <li>・蓬萊県管住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・相馬西仮設住宅飯館自治会設立総会を開催</li> <li>・第8回飯館村議会臨時会を開催</li> <li>・N T T大森社宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・放射性物質除去実証実験ひまわり焼却試験を実施（小宮・クリアセンター、30日）</li> <li>・固化剤散布後の表土剥ぎ取り試験を実施（伊丹沢行政区）</li> <li>・第2回「いいたてまでいな復興プラン」庁内検討委員会を開催</li> </ul>
																		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり支援プロジェクトチームが伊達東仮設住宅で健康プログラムをスタート</li> <li>・「ふるさと」への帰還に向けた取組み」で植えたひまわりの刈り取りを実施</li> <li>・第2回東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会を開催</li> <li>・鹿野道彦農林水産大臣が放射性物質除去実証実験を視察</li> <li>・比曾行政区が瀬戸内寂聴さん講話「心のきずな説法」を開催</li> <li>・旧松川小仮設住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・いいたて子育てプリペイドカード交付式を開催</li> <li>・草野、飯館両幼稚園で保育参観、ミニ運動会を開催</li> <li>・福島警察署が松川第1仮設住宅集会所に「ふれあい交番」を設置</li> <li>・松川駅前商店会が「飯館絆♥松川がんばっぺ!!第14回夕暮れコンサート」を開催</li> </ul>
																		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いやしの宿いいたて」開所式を行う</li> <li>・第3回「いいたてまでいな復興プラン」庁内検討会を開催</li> <li>・第1回リスコミュニケーション推進委員会を開催</li> <li>・国見仮設住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・松川雇用促進住宅飯館自治会設立集会を開催</li> <li>・飯館村避難村民自治組織連絡協議会を開催</li> <li>・飯館村未来への翼プロジェクト事業報告会を開催</li> <li>・いいたて子育てプリペイドカード交付式を開催（2回目）</li> <li>・飯野小学校体育館で敬老会を開催</li> <li>・松川第1仮設住宅駐車を会場に絆つながる「までいな一日。」を開催</li> </ul>

ひとのうごき

（8月21日から9月20日までに届け出のあったもの）

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
8月21日から9月20日まで		
今野 和奈 ちゃん	智和・美奈子	上飯樋
佐藤 莉衣奈 ちゃん	正登・佳奈恵	宮内
菅野 睦人 くん	稔久・陽子	比曾
佐藤 聖夢 くん	秀義・明日香	飯樋町
三本松 里香 ちゃん	隆志・マイリン	上飯樋

すくすくと育てね

結婚おめでとう



氏名	出身地
8月21日から9月20日まで	
丹野 雄太郎	福島市
佐野 瞳	関根・松塚
千葉 友裕	草野
今野 浩子	相馬郡新地町

いつまでもお幸せに

おくやみ



氏名	年齢	行政区
8月21日から9月20日まで		
只野 キクイ	83	小宮
高橋 広美	48	前田・八和木
高木 クノ	98	大倉
椀沢 益見	79	草野
下枝 直一	71	草野
森 ミツ子	72	前田

ご冥福をお祈り申し上げます



▲絆つながる「までいな一日。」のようす



▲幼稚園ミニ運動会のようす



▲伊達東仮設住宅健康プログラムのようす